

<h1>第 319 回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

◎ 日時 2019年11月22日（金）10：00～16：00

◎ 場所 きゅりあん 6階 大会議室

◎ 出席者 32名（法人会員：17社26名 個人会員：5名 オブザーバー参加1名）

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

- ・ 会員企業の安全技術普及会による機械安全企業内講習の紹介。
5年間 500名程度 他事業部にも展開していく方向。
- ・ 機械安全方策の導入により今年初めて休業災害0が達成できそう。
これまで多かった巻き込まれ災害が0。セーフティ1.0にまだまだ到達していない。
- ・ 事務局長 来年度の様々なことを企画している。 配布資料1-1
資料を参照 2月にフォローアップ講習を実施予定。近日中に HP に掲載。
- ・ 会員企業から社内工場事故発生が多いと報告。初心に帰って機械安全の勉強をし直し対応に当たりたい。
- ・ 安全対策 → 対策は後からのやる事
RA は方策 → 事故が起こる前にやる事。
考え方・言葉として「安全方策」として考えた方がよいとの意見があった。

2) 定例報告

① 第318回月例会・第43回企画運営委員会報告

第318回月例会議事録参照

- ・ 特別講演会 111名参加(一般参加30名)
来年も企画して実施する予定。
- ・ RA 手引書に関して現在意見を頂いているところ。
- ・ 安全の基礎理論 福田会長 今後も引き続き実施予定(2～3回程度)

② 関西委員会報告 石原氏

RA 手引書について

- ・ コメントを全体で3名の方から頂いている。
企画運営委員会でも内容を精査して内容を反映するか検討
- ・ 最新版は12月までに出したい。意見反映を今月末(11月)まで延長するので意見をお願いしたい。
- ・ 安全の基礎理論 一部疑問があるので今後の中で福田先生に質問をしたいと考えている。
- ・ 2020年3月13日 関西委員会で工場見学予定

株式会社山田製作所 <https://www.yamada-ss.co.jp/>

大阪府大東市新田中町 2-41 * 東京からも10名程度であれば参加可能

2. テーマ「サービスロボットの市場化課題・安全について」 13:00～15:00 THK(株) 三好氏

概要

サービスロボットの活躍の場が増えてきたことで、安全面の問題も増えてきた。

特に人の身近な場所で働くロボットは安全が避けて通れない課題となっている。

中には安全面の課題解決が行えず、なかなか市場導入されない事例も出ており、社会的な機会損失になっている。

社会で活躍できるロボット創るために求められる安全技術についてアーム付き移動型ロボットを例に紹介。

配布資料2-1

- ・産業用ロボットとサービスロボットの違い
- ・ロボットの RA
- ・事例紹介
- ・免振装置 守るべきものを守るため
- ・免振体験車 地震の体験及び免振の体験

○ 説明とデモの後、様々意見交換が行われた。

3. テーマ「空気圧機器での ISO13849実践」 15:00～16:00 SMC(株) 平田氏

概要

空気圧機器を使って、如何に実際のアプリケーションの PL に貢献できるか。

チャート図と空圧機器回路を使って説明。

配布資料3-1

○ 説明後、油圧回路と空圧回路の違いの指摘など様々意見交換が行われた。

4. その他(課題・困りごと)

月例会説明資料

資料番号	資料名
1-1	2020 年度1月～3月の機械安全等の講習会のご案内
2-1	「サービスロボットの市場化課題・安全について」
3-1	「空気圧機器での ISO13849実践」